

2025年12月期 第2四半期 決算説明資料

2025/08/08



アース製薬株式会社

社長の川端でございます。

本日（2025年8月8日）15:31に2025年12月期 第2四半期決算に加えて、
通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせを公表いたしました。

この説明会では、第2四半期の業績、業績予想及び配当予想の修正内容について説明した後、
企業価値向上に向けた取り組みについて、進捗をお話しさせていただきます。

それでは早速、始めさせていただきます。



2025年12月期 第2四半期決算概要

はじめに、第2四半期の業績概要です。

決算ハイライト



- 前期比：増収増益
- 計画比：売上はプロトリーフの連結子会社化による寄与もあり、計画を上回る粗利率の改善・販管費の計画内運用により営業利益は大幅達成

(単位：億円)

	24.2Q実績		25.2Q計画		25.2Q実績		比較			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期差	前期比	計画差	計画比
売上高	970.9	100.0%	1,020.0	100.0%	1,026.6	100.0%	55.7	105.7%	6.6	100.7%
売上原価	556.9	57.4%	579.0	56.8%	575.2	56.0%	18.2	103.3%	▲ 3.7	99.3%
売上総利益	413.9	42.6%	441.0	43.2%	451.4	44.0%	37.4	109.1%	10.4	102.4%
販管費	306.4	31.6%	331.0	32.5%	315.9	30.8%	9.5	103.1%	▲ 15.0	95.4%
営業利益	107.5	11.1%	110.0	10.8%	135.5	13.2%	27.9	126.0%	25.5	123.2%
経常利益	113.3	11.7%	114.3	11.2%	136.5	13.3%	23.1	120.4%	22.2	119.5%
親会社帰属中間純利益	76.4	7.9%	80.0	7.8%	93.7	9.1%	17.3	122.7%	13.7	117.2%

© Earth Corporation All Rights Reserved.

2

売上高は1,026.6億円、営業利益は135.5億円と、増収増益となりました。
計画比では、売上高はカテゴリごとに状況は異なりますが、プロトリーフの連結子会社化による寄与もあって計画を上回り、粗利率の改善や、販管費の計画内での運用により、営業利益は大幅に上振れる結果となりました。

■ 国内、海外、総合環境衛生、MA-T®の4本柱による収益拡大を目指す

国内	海外	総合環境衛生事業	MA-T®
季節性の影響を最小限に 企業の核となる収益を確保	ASEAN中心に 成長のドライバーとする	安定収益の確保	季節要因に左右されない 新規ビジネスを開拓
 シェアNo.1の維持 (虫ケア用品、入浴剤)  日用品の収益確保 ・ 洗口液・消臭芳香剤 ・ 家庭用マスク  成長チャレンジ ・ 園芸用品 ・ ペット用品	 グローバルシェア 虫ケア用品No.2  24カ国にFocusした 展開拡大  グローバルブランド育成 ・ 虫ケア用品 ・ オーラルケア ・ 消臭芳香	 技術力・教育・専門性 の3つの柱の確立  「環境ドクター」による品質 保証支援サービスの錬磨  新分野へのサービス展 開と持続的に成長し続 ける事業基盤への変革	 液剤ビジネスでの 安定収益確保  ライセンスPFによる ビジネスモデル構築  社会課題の解決に 資するMA-T®技術の 社会実装
【今期の主な取り組み】 - コア収益品の価格改定実施『アースノーマット』 - WTP向上に向けた 広告宣伝費の積み増し、 マーケティング施策の積極化	【今期の主な取り組み】 - 各国Top15アカウントの攻略 - 虫ケアブランドの配荷拡大 (エアゾール・虫よけ) - 公的機関との接点拡大	【今期の主な取り組み】 - 年間契約からの売上比率 70%の実現 - 彩都総合研究所を拠点に、 技術開発、人材育成を強化	【今期の主な取り組み】 社会実装の促進に向けた 認知度拡大施策 『大阪・関西万博2025』

© Earth Corporation All Rights Reserved.

当社の成長戦略で目指すべきポートフォリオとして、国内、海外、総合環境衛生、MA-Tの4つの事業で見えています。
現状、利益を稼ぐのが国内、将来的な成長ドライバーとなるのが海外、さらに拡大させていこうとしているのが総合環境衛生事業、そして未来への投資の分野としてMA-Tの4つの柱を掲げています。

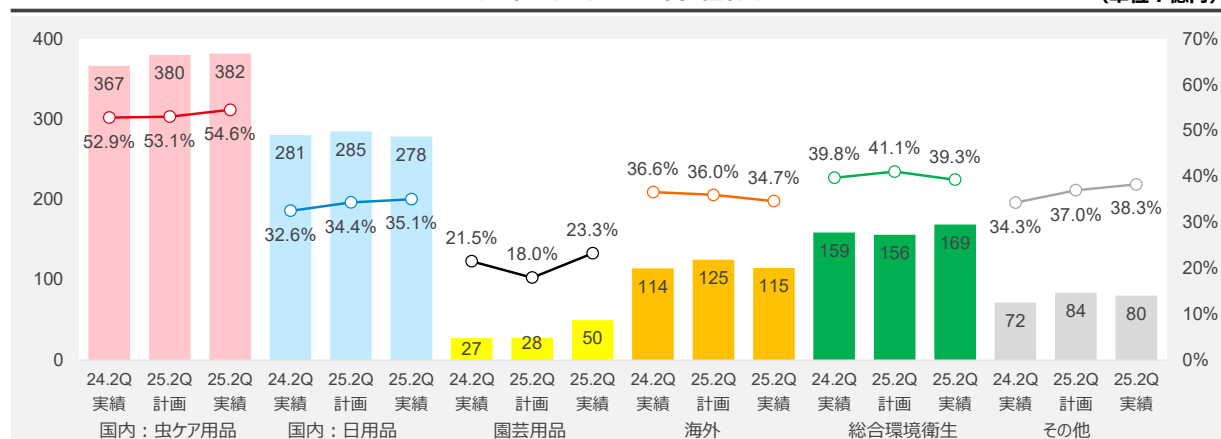
管理会計ベース 売上高・粗利率 (24vs25)



- 国内 虫ケア : 増収及び価格改定効果により利益改善
- 国内 日用品 : 売上は苦戦しているものの、入浴剤・口腔衛生を中心に収益性が改善
- 園芸用品 : プロトリーフの連結子会社化により売上が拡大
- 海外 : エリアによってバラつきはあるが前年並み、計画では未達
- 総合環境衛生 : 安定的な成長を継続

ポートフォリオ別売上高・粗利率

(単位: 億円)



© Earth Corporation All Rights Reserved.

*当社管理会計ベース、内部相殺取引などの連結調整は含まない

4

各ポートフォリオの状況について、管理会計ベースでご説明します。

なお、今期から株式会社プロトリーフを連結子会社化したことに伴い、従来は虫ケア用品の中に含んでいた園芸用品の業績を、この2Qより区分しております。

園芸用品については、プロトリーフの連結により売上が増大しています。プロトリーフについて、今年は4～12月の9か月分が業績に寄与します。

続いて国内については、特に虫ケア用品では増収を達成し、価格改定効果などが着実に出てきています。

海外については、成長戦略の1丁目一番地として、現在も取り組んでいます。この2Qでは、収益性が若干悪化しております。この原因については把握ができていますので、下期にむけては着地点を見極め、取り組みを進めていきます。

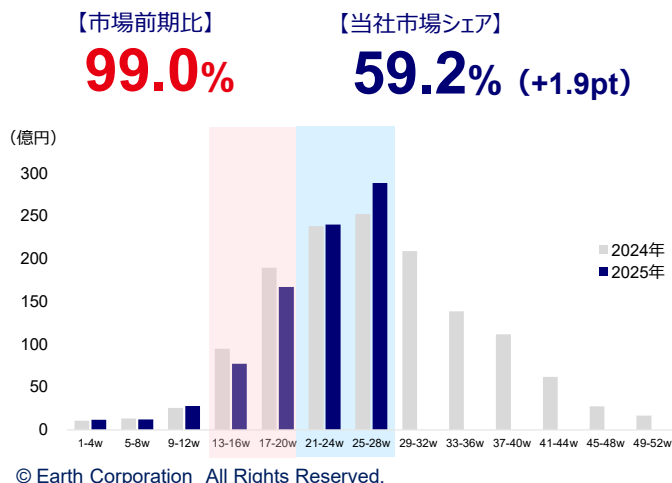
総合環境衛生については、安定成長を継続しています。

国内：虫ケア用品 事業の状況

- 市況：5月中旬までの低調な推移が影響し、6月末時点では前期比99%と微減
他社合計では94.6%と前年割れの中、当社のみ前期比102.3%
- 出荷：新製品を含んだ、虫よけ剤・ゴキブリ・不快害虫カテゴリの製品が寄与
- 売上構成の変化により粗利率が改善

6月末時点の市場状況、当社市場シェア

注力新製品の動向



国内の虫ケア用品の状況について説明いたします。

足元では猛暑・酷暑となっていますが、市場の立ち上がりは非常に低調でした。ゴールデンウィーク頃もまだ気温が低い状態が続いていました。その影響もあり、6月末では市場自体は前期比99.0%と全体では前期を若干下回りました。

こうした状況ながら、当社の市場における販売高は前期比102.3%となりました。また、当社はお客様の支持率であるシェアにこだわっています。ここにこだわった製品開発、市場投入も行い、取引先様などともこうした考えを共有し、国内市場の拡大に貢献してまいります。こうした考えのもと、今期もシェアを約2%拡大させていただき、非常に順調な状況となっています。

この下期も決して楽観視はいたしません。天候のことなのでわからないことが多いのも事実です。ただ一方で、残暑が長引くという予報や過去2～3年の状況を踏まえると今年も11月くらいまで暖かい状況が続くだろうと推測できます。そのため、おそらく市場も前期比で100%を超えてくるでしょう。ですので、トップメーカーとして市場の伸びをけん引できるようにシェアをいただきながら、経営していきたいと考えています。

今夏の注力商品として人体用の虫よけ剤「はだまも」を出しています。この商品に限らず、他の商品も今のところ順調にお客様に受け入れていただけているかと思っています。

国内：日用品 事業の状況

- 入浴剤は、市場が成長する中で微増にとどまり、シェアを落とす結果
- 口腔衛生用品は、高い計画に対して未達なものの、前年並みを維持

入浴剤（6月末時点）

【市場前期比】

105.6%

【当社市場シェア】

42.4% ▲1.3pt

基幹商品の動向

- ・ 温泡

計画比 **100%**



- ・ きき湯

計画比 **103%**



口腔衛生用品（6月末時点）

【市場前期比】

96.7%

【当社市場シェア（マウスウォッシュ）】

18.5% +0.5pt

基幹商品の動向

- ・ モンダミン（レギュラー）

計画比 **91%**

- ・ プレミアムケア

計画比 **89%**



© Earth Corporation All Rights Reserved.

6

続いて日用品の状況です。

入浴剤については国内トップシェアを維持しながらも、シェアは低下しているという現状です。これについては、バスクリンとの統合を踏まえて、この1年かけて、SKUの見直しや商品の出し方について検討を進めてきています。課題ととらえながらも、この下期から来期にむけて反転できる体制がいよいよ整ってきました。来期以降、実績を説明していきたいと考えています。

洗口液については、市場が前期比96.7%と下回る中で、シェアを高めております。シェアの観点からモンダミンは改廃していかなければならないタイミングにきており、この下期に大幅なリニューアルを行います。この新しい取り組み策をもってブーストをかけていきたいと考えています。

2024年 世界No.2のシェア*を保持



2024年
No.2

グローバルシェア
10%へ



© Earth Corporation All Rights Reserved.

*自社推計 7

海外の状況についてです。

海外展開は、中期経営計画の最重要テーマと捉えています。

大きなトピックとして2023年のグローバルシェアが第3位でしたが、2024年には第2位となりました。グローバルシェア第1位の獲得はもちろんですが、まずは10%の獲得を目指していきます。それを目指す中で第2位を保持できたことは、大変大きな出来事だと思っています。

次ページ以降で、各現地法人の状況を説明していきます。

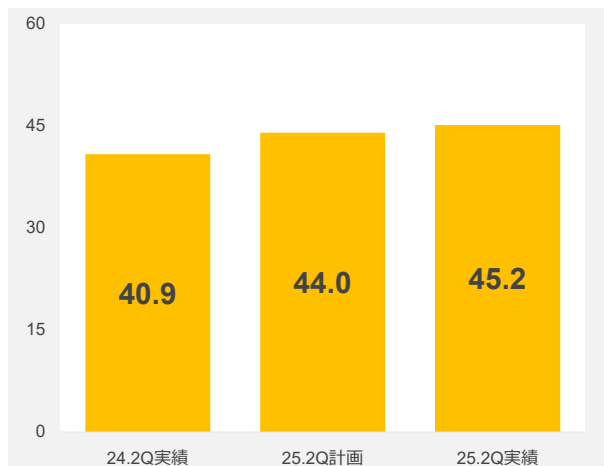
海外 事業の状況 (ASEAN中核)



(単位：億円)

タイ

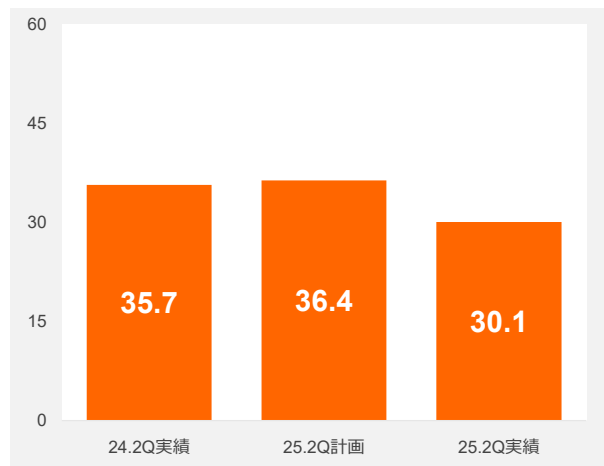
- 円貨ベースで売上計画を達成
- 主要アカウント向けの伸びが顕著
- 虫ケア用品 市場シェアNo.2を維持



© Earth Corporation All Rights Reserved.

ベトナム

- 営業体制の変更や、1Qでの売上未達影響により、円貨・現地通貨ベースとも計画未達



8

ASEAN中核エリアに位置付けているタイ、ベトナムの状況です。

タイについては、順調に推移しています。日本以外でシェアNo.1の国を作ることを目指しておりますが、着実にタイではそうした歩みを進めています。近い将来、No.1になったという報告ができるように、油断なく事業を進めていきます。

ベトナムについては、これまでタイと同様に海外業績の伸びをけん引してきました。より強固な地盤を作るため、この好調なタイミングで営業体制の変更等を行っています。そのため、第1四半期での売上未達などが影響し、この2Qでも計画未達の状況です。下期にむけて新しい体制において売上を伸ばせるように努めていきます。

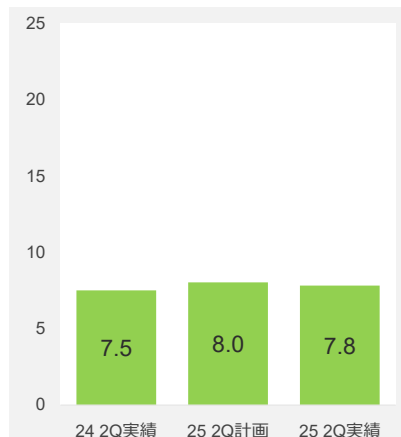
海外 事業の状況（ASEAN展開拡張、中国、輸出）



（単位：億円）

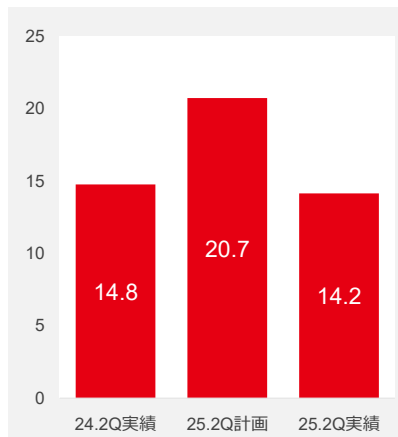
展開拡張エリア（マレーシア・フィリピン）

- マレーシア：主要アカウントにおける定番品の採用増により、虫ケア用品・芳香剤とも順調
- フィリピン：欠品の影響により、売上の進捗が遅延



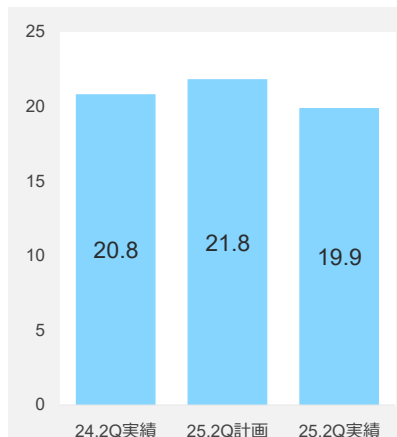
中国

- 主要企業における虫ケア用品の立ち上げ遅れの影響をカバーしきれず、未達



輸出

- サウジアラビア・香港における虫ケア市場の低迷が影響
- 台湾では順調に推移



© Earth Corporation All Rights Reserved.

9

続いて、ASEAN展開拡張エリア、中国、輸出についてです。

マレーシアは、製品の採用が進み、順調に成長をしています。自社で一からスタートさせた国で、非常に良い手応えを感じています。

フィリピンについては、一部の商品が欠品した影響で、計画未達の状況です。この欠品は予測できなかった事態で、この反省点を踏まえ、下期に挽回できるように努力していきます。

中国については、市場全体も芳しくありません。市場とも関係し、取り組み自体が遅れている状況です。シェアがまだまだ低い状況でもありますので、営業体制の見直しを進めていくことに加え、中国国内に頼らない体制作りも必要だと考えています。

輸出については、コアエリアであるサウジアラビア・香港の虫ケア用品市場が低調であり、影響を受けています。一方、台湾での事業は順調に推移しています。この輸出では、次の現地法人候補の見極めも行っていきます。

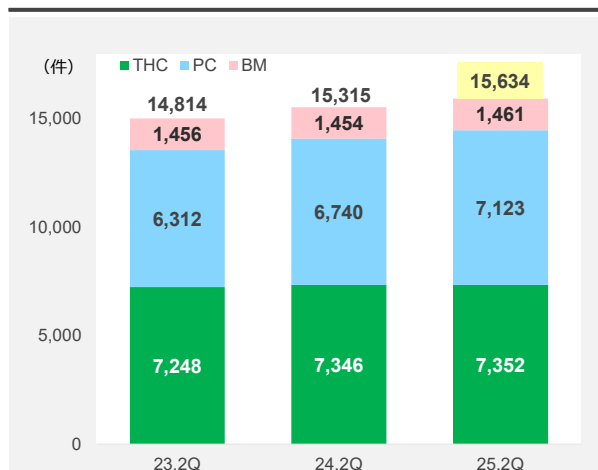
海外事業全体では、非常に高い計画を立てつつも、悪い状況ではありません。しかしながら、この下期にむけて、やり直す部分やさらに伸ばしていく部分を見極め、計画通りに着地させていくべく、進めております。

総合環境衛生 事業の状況



- 外部要因の影響もあり、専門的な知識や技術、ノウハウをもって提供する衛生管理サービスへの需要増加に伴い、契約件数と契約金額が着実に増加

総合環境衛生 年間契約件数推移



© Earth Corporation All Rights Reserved.

実績好調な背景

- | | |
|------|---|
| 外部要因 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 異物混入事件、国内の法改正などによる、顧客の衛生管理意識の高まり ■ 製造業の設備投資の増加 |
| 内部要因 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 専門性や技術開発力の強化に向けた投資の積極化 ■ ライフサイエンス分野向け検査設備の拡充 ■ AIを活用した監視システムの上市 |

10

総合環境衛生事業については、当社の2大事業のひとつとして捉えており、年間契約件数も順調に増加を続けるなど、安定成長しています。

こちらは衛生管理サービスへのニーズの高まりを背景に、当社の専門知識や技術などの高いサービス品質が受け入れられ、契約件数が拡大していることが主な要因です。更なる提供サービスの品質を向上させ、契約件数を拡大してまいります。

国土強靱化担当大臣賞受賞

- MA-T®と㈱シリウスの「洗身用具 switleBODY」を活用した避難所での感染症対策と衛生環境保持の仕組み作りが受賞



https://www.cao.go.jp/minister/2411_m_sakai/photo/2025_023.html

バイオメタノール合成法を開発

- 大阪大学・大和ハウス工業との共同研究で、常温・常圧下でバイオガス中のメタンからバイオメタノールを高変換率で合成する方法を開発
- この技術は、非化石由来のバイオガスからもメタノール合成を可能にし、脱炭素化に貢献すると期待される
- メタノール製造装置の小型化も可能になり、温室効果ガス削減にもつながる

<https://corp.earth.jp/jp/news/2025/pdf/20250424-04.pdf>

ペット保険No.1アニコムとの独占契約締結

- MA-T®を活用した「ペット用 MA-T® 口腔ケアジェル」について、ペット保険シェアNo.1のアニコム損害保険㈱のグループ会社、アニコム パフェと独占販売契約を締結
- これにより、アニコム パフェが同商品を動物病院やペットショップなどで独占販売



<https://corp.earth.jp/jp/news/2025/pdf/20250424-03.pdf>

© Earth Corporation All Rights Reserved.

大阪・関西万博へ出展

- 日本MA-T工業会が「大阪ヘルスケアバビリオン」の「ミライのヘルスケア」ゾーンに出展。加盟企業が取り組む、ペット用口腔ジェル、マウスウォッシュ、シャワーゲートを通してMA-T®を体感



<https://corp.earth.jp/jp/news/2025/pdf/20250424-05.pdf>

続いて、MA-T®事業の進捗をご紹介します。

MA-T®事業を進めるには、いくつかのフェーズがあります。その中で、MA-T®の認知拡大や社会実装を進めるための後押しとして、工業会を設立したことが第1フェーズにあたると考えています。

MA-T®の認知拡大は粛々と取り組みを進めています。ペット保険No.1のアニコムグループのアニコムパフェとの独占契約をはじめ、新しい取り組みをどんどん進めています。今回は、第1四半期の決算説明の際にお話した内容から、シリウス社との取り組みにフォーカスして説明いたします。

国の介護テクノロジー定着支援事業において、
Switle BODY（MA-T®搭載予定の機器）が補助対象に認定

● 目的

- ・ 職場環境改善に取り組む介護サービス事業者に対するテクノロジー支援

● 補助率

- ・ **75%補助**（1 機器につき上限30万円）

※SwitleBODY本体価格：184,800円 ⇒ **46,200円**

● 事業スキーム（お金の流れ）



● 適応開始時期

- ・ 2025/7/7～



上記装置専用のMA-T®液剤が8月発売開始予定！

12

シリウス社の洗身用具「Switle BODY」は介護現場等で使用され、簡単に介護者の身体を洗浄できるという器具です。この度、この「Switle BODY」が、国の介護テクノロジー定着支援事業において、補助対象に認定されました。

この洗身器具の洗身剤にMA-T®が使用され、8月から発売開始となります。これにより、今後この機材の普及が進むことが期待され、MA-T®の売上拡大を見込んでいます。

アース製薬×アタム技研 マットレス・エアマットレス洗浄機にMA-T®採用



アタム技研のマットレス、エアマットレス洗浄機（MA-T®専用機）の運用開始

業界初※1「MA-T®」対応のマットレス洗浄機、

エアーマットレス洗浄機を実用化

～すすぎ工程で「MA-T®」を活用し作業時間約 30%短縮、作業現場の負担を軽減～

アース製薬株式会社（本社：東京都千代田区、社長：川端克宜、以下「アース製薬」）は、アタム技研株式会社（本社：愛知県丹羽郡扶桑町、代表取締役会長：井ノ上耀子、以下「アタム技研」）と共同で、介護業界で初めて※1「MA-T®」をすすぎ工程に活用した、2枚型マットレス洗浄脱水機「MR II-2171M」と、2段式エアーマットレス洗浄機「AM II-2702M」を開発しました。



2枚型マットレス洗浄脱水機
MR II-2171M



2段式エアーマットレス洗浄機
AM II-2702M



【洗浄機×MA-T®のメリット】

- ✓ 洗浄時間を約30%以上短縮
- ✓ 機器1台あたりの洗浄処理能力の向上
- ✓ 素材を傷めにくい薬剤・消臭効果で廃棄率減少

【今後のMA-Tの機器導入予定】

- ✓ 多目的洗浄機への応用（25年10月～）

MA-T System® 対応機種



2枚型マットレス洗浄脱水機
[MR II-2171]



2段式エアーマットレス洗浄機
[AM II-2702]

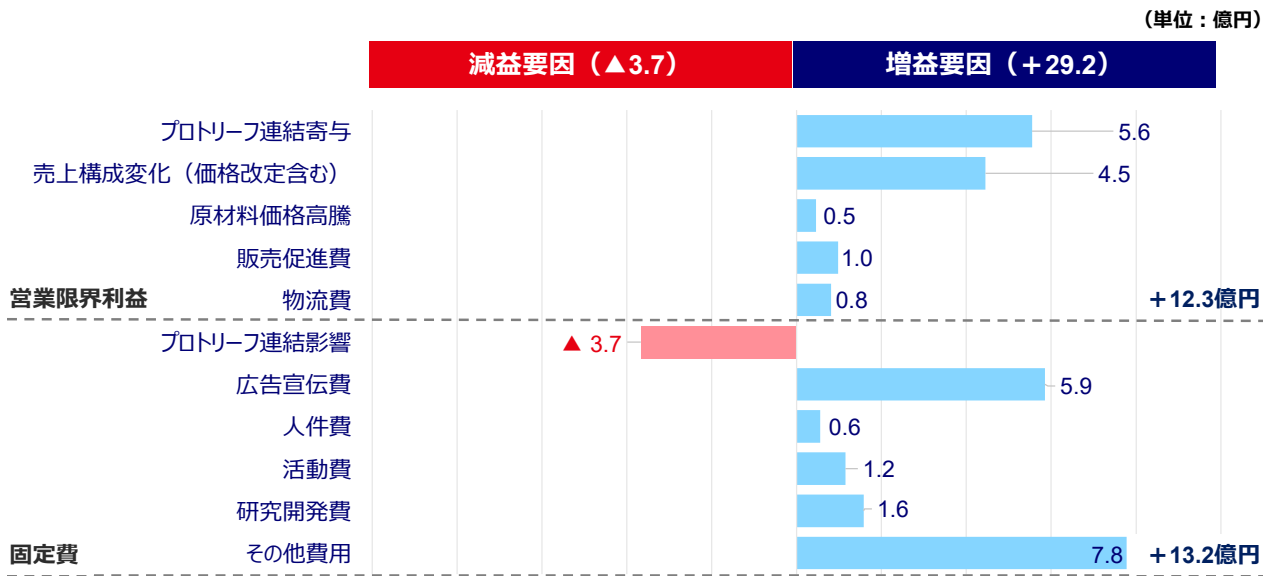
もう一つトピック的にご紹介させていただきますと、アタム技研のマットレス洗浄機にMA-T®が採用されます。MA-T®を活用することにより、洗浄時間の短縮や、機器1台当たりの洗浄処理能力の向上、さらには素材を傷めにくいことにより廃棄率の低下も期待できます。今後は、これにとどまらず多目的洗浄機への応用も予定しております。

こうした事例以外にも様々な案件が進んでおり、単年での黒字化が視野に入り、本事業が第2フェーズに移ってきたと感じております。

営業利益変動要因（計画比）



- プロトリーフの連結子会社化に加え、価格改定効果を含む売上構成変化が利益の上振れに寄与
- 広告宣伝費は下期以降の消化を見込む



こちらは、営業利益の変動要因について計画対比を示したものです。

全体的に増益側に振れていますが、プロトリーフの連結子会社化に加えて、価格改定効果を含む売上構成変化が利益の上振れに寄与しています。

一部、構造改革費用や広告宣伝費で使用タイミングのずれがありますが、通年では計画どおり使用する見込みです。



通期業績予想・配当予想の修正

ここまで、第2四半期の業績について説明してまいりました。

続いて、本日公表しました通期業績予想及び配当予想の修正について、説明いたします。

通期業績予想の修正（25/8/8）



（単位：億円）

- (株)プロトリーフの連結子会社化及び足元の状況を加味し、通期業績予想の上方修正を公表
- **現・中期経営計画の最終年度に予定していた利益水準を1年前倒しで達成見込み**

2025 計画		2025修正	差額	予想修正の主な要因	2024 実績
売上高	1,750	1,780	+30.0	・ (株)プロトリーフ連結子会社化による寄与	1,692
売上総利益	723.0	738.0	+15.0	・ 価格改定効果や売上構成の変化により、当初見込んでいた粗利率から改善する見込み	689.6
販管費	658.0	658.0	0.0	・ 上期の予算未消化分は一部使用 経費の効率化を図り、(株)プロトリーフ分を吸収	625.4
営業利益	65.0	80.0	+15.0		64.2
親会社株主帰属 当期純利益	43.0	53.0	+10.0		34.7
ROE	6.2%	*7.6%	+1.4pt		5.1%

© Earth Corporation All Rights Reserved.

*2025年8月8日公表の連結業績予想修正値をベースにしたシミュレーション値 16

まず、通期業績予想の修正の内容です。

売上高は1,780億円、当初計画に対して30億円上振れる見込みです。こちらについては、当初計画外であったプロトリーフの連結子会社化によるところが大きく、その他は概ね計画線で推移する見込みです。一方、当初計画でやや保守的に見込んだ粗利率が改善する見込みであり、販管費についてはプロトリーフ社分を考慮しても当初計画と同等で着地する想定のため、営業利益は80億円、計画に対して15億円の上振れとなる見込みです。これに伴い、純利益も上振れる見込みとなり、ROEは7.6%に改善する想定となります。

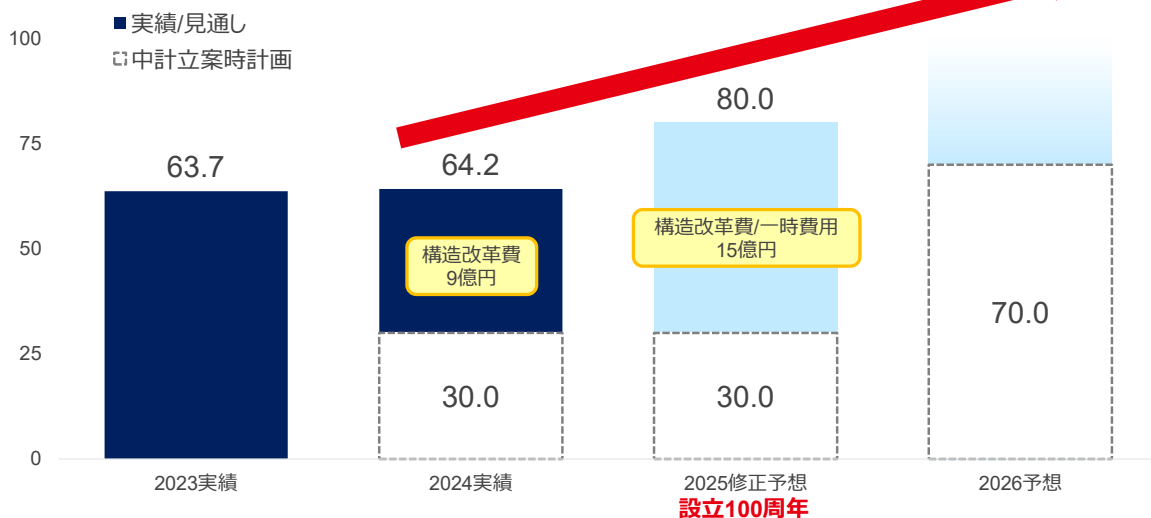
今回の予想修正により、元々中期経営計画の最終年度に予定していた利益水準を1年前倒しで達成する見込みとなりました。

現・中期経営計画 収益見通し



(単位：億円)

- 現・中期経営計画の目標利益達成に伴い、最終年度に目指す利益水準を引き上げ
- 国内日用品・園芸用品の収益性改善、海外の成長加速を図る
- 具体的な利益水準については、後日改めて公表



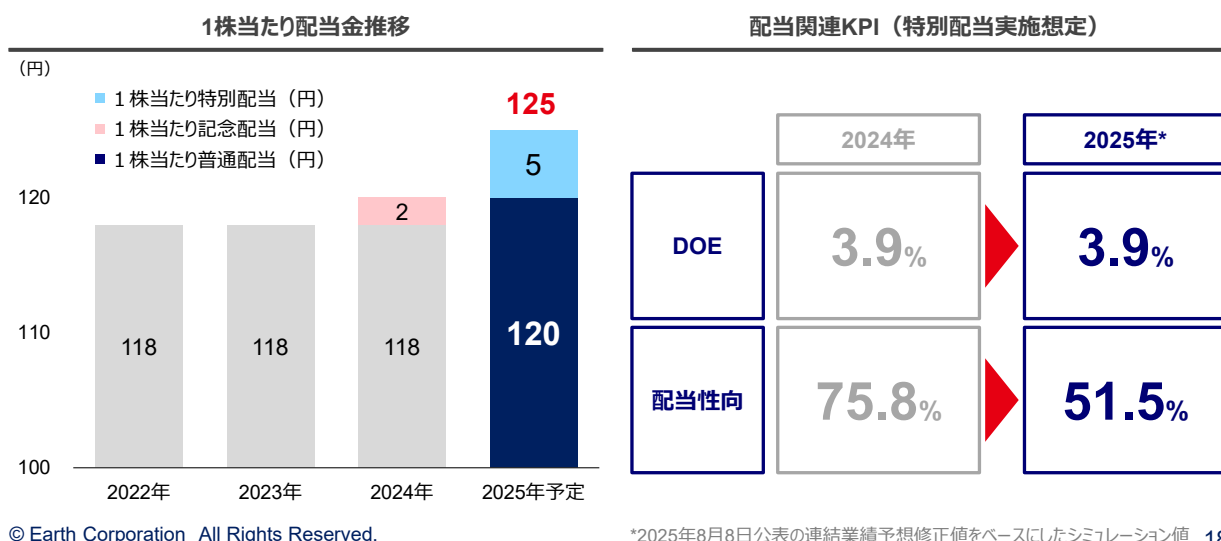
© Earth Corporation All Rights Reserved.

17

現中期経営計画の収益見通しについてですが、利益目標を1年前倒しで達成する見込みですので、最終年度に目指す利益水準を引き上げる予定です。本日は具体的な水準の公表は差し控えさせていただき、後日改めてお話しさせていただきたいと考えています。

配当予想の修正（増配）

- 2025年8月8日開示のとおり、足元の業績動向も踏まえ、特別配当を実施
- 2025年の1株当たり配当金は、**特別配当5円を含め125円**を予定



通常であれば、3Qもしくは4Q時点で配当修正を発表させていただいていますが、こうした業績動向を受け、特別配当として5円の増配を実施します。

DOEを重要指標とし、4%程度を目標としています。今回の修正によりDOEは3.9%となり、加えて、配当性向は51.5%となる見込みです。



企業価値の向上に向けた取り組み

- ・ ブランド価値の向上
- ・ グループ再編の進捗

ここからは、今後、当社が企業価値を高めていくための取り組みについて、お話しいたします。

「お口年齢」をケアし、美と健康に貢献する



お口と心がリフレッシュし、毎日が笑顔で、
輝く様子をロゴマーク全体で表現しています。

また、連続性のある三角形を用いることで、
毎日無理なく使い続けられるブランドである
ことを示しています。

モンダミンブランドのグローバル化を目指し、
世界共通のロゴマークを採用しました。

この秋のモンダミンの大幅なリニューアルに向けて、1年以上かけて準備をしてきました。1987年の発売以来、ロングセラー商品として、たくさんのお客様にご支持をいただいています。また、これまであまり大きなリニューアルはしてきておらず、今回、誕生以来初めての大幅な刷新を行います。

「お口年齢」をケアし、美と健康に貢献する、ということでロゴマークを一新します。
グローバル展開を加速させることも視野に表記も変更し、また、若い世代にも対応していくことを
目的にブランドロゴから変えていきます。

発売直後より、新しいモンダミンを徹底的に露出

25年9月～12月 TVCM投入計画

過去最大の投入

© Earth Corporation All Rights Reserved.

21

テレビCMは過去最大の投入量を計画しています。
当社だけでなく、販売店様などと協力し、様々な取り組みをスタートしていきます。
お盆期間の終了後に、いよいよ出荷が始まりますので、店頭でご覧いただく機会が増えると思います。

アース製薬が38年ぶりにかける思いを店頭でご覧いただけたら、ありがたく思っております。

今回のリニューアルにより収益性が大きく改善



© Earth Corporation All Rights Reserved.

22

今回のリニューアルはブランドの抜本的な刷新だけにとどまらず、収益性も改善します。具体的には処方の見直しや包装コストダウンなどを図るとともに、製品ラインナップについても見直しを図り、単品当たりの利益率も上がるようになっていきます。

最初は投資が先行いたしますが、新しいモンダミンが当社の業績に貢献していくと見込んでおり、来期以降に、実績を報告できればと考えています。

グループ経営力強化に向けた組織再編を推進

1



アース製薬



BATHCLIN

26年1月の統合に向けて順調に進捗

2

ホールディングス
体制への移行

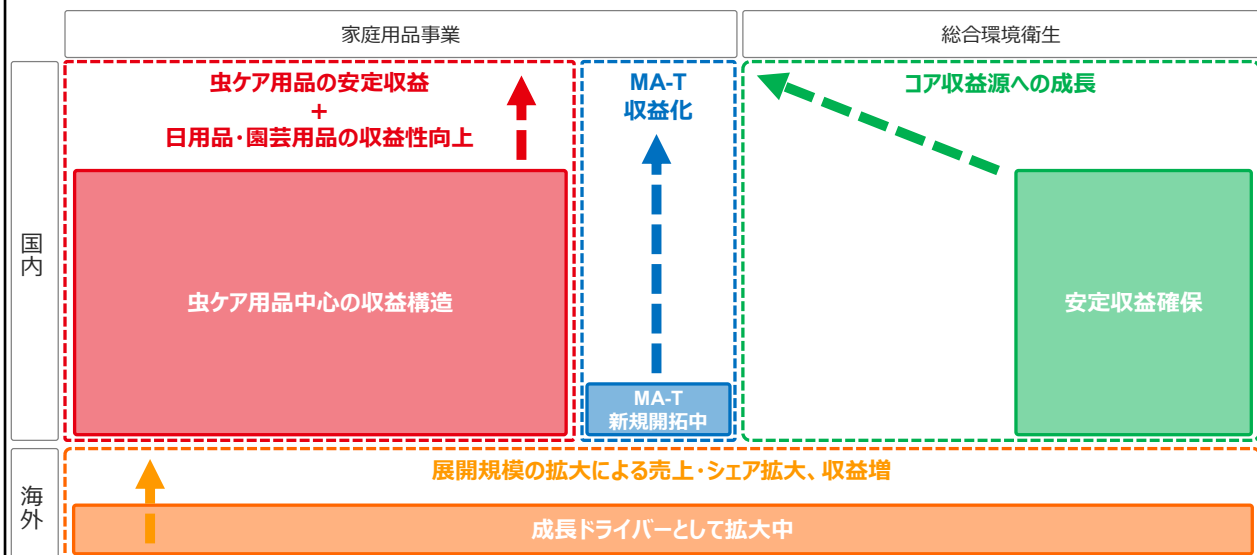
26年より本格検討開始

もう一つ、グループ再編についてお話しします。この2つは今中期経営計画中には実行していきます。

まず、バスクリンとの統合については、2026年1月からスタートできるように着実に準備を進めています。また統合後のPMIの実施に向けても対応を進めています。

次にホールディングス体制への移行についてはグループ各社の社長や当社取締役を含めて、既に検討を始めています。着実な実行に向け、議論を加速させてまいります。

複数の収益源を持つ強固な経営基盤の構築



© Earth Corporation All Rights Reserved.

24

当社の目指す姿についてお話しします。

当社はメーカーです。商品を通して、お客様の悩みを解決し、お客様から支持率を頂戴しています。ただ、他のメーカーと異なり、BtoBの総合環境衛生事業を手掛け、伸ばしていきます。この総合環境衛生事業と家庭用品事業の2つのコア事業をもって、アース製薬を表していきたいと考えております。そして、成長戦略として海外事業をとらえ、収益を拡大させていく方針です。加えて、家庭用品事業の中にMA-T®を位置づけ、新たな将来のポートフォリオをして成長させていきます。

こうした考えを次期中期経営計画にも盛り込み、アース製薬について皆さまと成長戦略を共有していければありがたいと考えております。

地球を、キモチいい家に。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

以上で説明を終わります。